

## 大学生活 4 年間で大きく変えた経験

法学部 2年 大石 潤  
JTW チューター(2017-2018)  
日本語会話パートナー(2018-2019)

### 日本語会話パートナー活動のきっかけ

大学に入り、漠然と英語はこれから必要になるという考えがあり、SALC に行きました。今思えば、あの時 SALC へ足を運んだことが大きく私の大学生活を変えました。高校生までは、外国人に対して（自分の語学力の低さも相まって）少しだけ怖い印象がありました。しかし、SALC での、いろいろな国の学生が英語という共通語を通して会話しているという状況に非常に驚くとともに、私のつたない英語を真剣に聞いて、ゆっくりと分かるように会話してくれる親切な留学生らに今までのステレオタイプのようなイメージが大きく変わりました。その時がきっかけで英語や国際交流に興味を持ち、チューター活動や日本語会話パートナー活動を1年生の後期（2017年9月）から始めました。



留学生とともに開催した国際交流イベントの時の集合写真

### 日本語会話パートナー活動全体を通して

日本語会話パートナー活動全体を通して、沢山の活力を留学生からもらいました。九大へ来る留学生は自分の大学生活や将来を真剣に考えて留学すること決意し、かつ世界にたくさんある国の中で日本を選択し、留学しに来ています。だからこそ彼らは非常に精力的で、留学期間という限られた時間の中で大いに日本文化を学び、言語を学んでいます。そんな留学生と話す中で、自然と日本と外国を比べ、自分の将来や大学生活を顧み、気づくと自分の大学生活のイメージに、今までなかった留学という選択肢や、海外で働くという選択肢がふと現れてきます。活動を通して、皆さんも多くの活力を留学生からもらって、興味あることにたくさん挑戦してほしいです。

### 日本語会話パートナー活動に興味を持っている九州大学の学生へ

大学に入る前は、「東京で働きたい」とか、「京都で働きたい。」とか、日本の中で働くことを前提に、日本ベースで自分の将来を考えていました。しかし、この活動を通して、「日本人だから日本で働く」という考えを捨て、世界のどこで働きたいか、「アメリカで働きたい」、「フランスで働きたい。」と、世界ベースで自分の将来を考えるようになりました。その結果、日本で働くことを選択するのももちろん素晴らしいと思います。「日本人だから何となく日本で働くこと」と、「世界のどこで働くかを考えた上で、日本で働くこと」は同じな様でいて全然違います。自分のことを大切にして、自分のこれからの人生を真剣に考えるきっかけとして、この日本語会話パートナー活動はとても良いきっかけになるでしょう。大学生のこの好機をつかんで、皆さんや、これから皆さんがお会いする留学生の大学生活がより有意義なものになるよう願っております。